

23歳、29歳、33歳の働く女性各100人に調査 2015年の新たな挑戦は1位「ダイエット」に続き、 2位が「資格取得」、3位が「趣味作り」

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村吉弘）が編集・運営をする社会人のスキルアップ・転職のためのスクール情報誌『ケイコとマナブ』と資料請求&レッスン予約サイト『ケイコとマナブ.net』は、働く女性が「2015年に新たにチャレンジしたいこと」についてアンケートいたしましたので、その結果をご報告いたします。

概要

「働いている女性」とひとくちに言っても、年齢、社会人歴、ライフイベントとの相関によって、意識もずいぶん違わず。今回は23歳、29歳、33歳の各年齢を取り上げ、約100名ずつに意識調査を実施。

- 23歳**：社会人2年目、まだ結婚・出産へのリアリティが薄く、また現職をこなすことに必死な年齢。
 - 29歳**：社会人7年目、結婚が最もリアルになる年齢。（平均初婚年齢28.6歳）
 - 33歳**：社会人11年目、会社・仕事では中堅に。ただ、長期的視点でのキャリア形成に悩み出す年齢。
- ※社会人歴は、4年制大学卒業後、企業入社を想定。浪人・留年はなしと考える。

◆2015年、新たにチャレンジしたいことはなんですか？ *いくつでも

	総合（全年齢・計）		23歳		29歳		33歳
1位	ダイエット（31.3%）	1位	資格取得（28.8%）	1位	ダイエット（31.9%）	1位	ダイエット（34.2%）
2位	資格取得（27.8%）	2位	ダイエット（27.9%）	2位	資格取得（27.4%）	2位	資格取得（27.0%）
3位	趣味作り（23.6%）	3位	趣味作り（24.3%）	3位	趣味作り（23.0%）	3位	趣味作り（23.4%）
4位	転職（20.3%）	3位	人脈作り（24.3%）	4位	転職（18.6%）	4位	転職（18.9%）
5位	人脈作り（19.1%）	5位	彼氏を作る（22.5%）	5位	引越し（15.9%）	5位	人脈作り（18.0%）

n=111人（23歳）、113人（29歳）、111人（33歳）2014年9月インターネット調査／『ケイコとマナブ』調べ

「資格取得」は2015年チャレンジしたい対象に！

「2015年に新たにチャレンジしたいこと」として、いずれの年齢でも「ダイエット」「資格取得」「趣味作り」がTOP3を占めた。「資格取得」は年齢を問わず関心が高く、チャレンジ意欲を掻き立てる対象となっていることがわかる。

◆各年代別 取得資格ランキング *自動車運転免許は除く

	23歳		29歳		33歳
1位	秘書検定（12.6%）	1位	英語検定（16.8%）	1位	簿記検定（21.6%）
2位	MOS（11.7%）	2位	簿記検定（13.3%）	2位	英語検定（9.0%）
3位	簿記検定（10.8%）	3位	秘書検定（11.5%）	3位	秘書検定（9.0%）

n=111人（23歳）、113人（29歳）、111人（33歳）2014年9月インターネット調査／『ケイコとマナブ』調べ

全世代で、取得者が多い資格は「英語検定（英検）」「簿記検定」「秘書検定」。

「簿記検定」は、実務でも必要性を感じたり、次のキャリア形成に役立てるといった意向が強くなるせいか、年齢が高くなればなるほど、取得者率も高くなる傾向。

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press/>

【『ケイコとマナブ』編集長・根岸が注目！

2015年に取得者が増えそうな資格】

◆個人情報保護士認定試験（取得の目安/2カ月）

個人情報の取り扱いに慎重になる企業が増えるため、その取り扱いに関する豊富な知識を持つ人材が重宝される。

◆ソーシャルメディアマネージャー認定試験（取得の目安/3～6カ月）

すでにアメリカではソーシャルメディアの専門家は引く手あまた！今後、日本でもますます注目の資格になることは必至！

◆保育士（取得の目安/1年～）

2014年10月から「専門実践教育訓練給付制度」の対象講座（*すべての講座ではない）になり、受講料の40%（最大96万円）が受講修了後に支給されるため。

（*支給条件あり）

